

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体		
SHSなか学コミュニティ事業			中区役所自治推進課		
事業目的	事業内容	活動指標	R5		
<p>中区政について、若い世代の視点で効果的な啓発方法や事業の検討を行うことにより、区民が住みよい地域社会の実現をめざすことを目的とする。</p>	<p>中区内の高等学校(精華高等学校、大阪府立東百舌鳥高等学校、大阪商業大学堺高等学校)の生徒に協力を得て、“若者の視点”で中区政について、効果的な啓発方法や事業の検討を行うことにより、区民が住みよい地域社会の実現をめざす。</p>	アンケート実施回数	1回		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○	<p>防犯や交通安全の他、中区事業に関して、若者の様々な視点から意見を聞き、区政に反映することは、よりよい地域社会の実現をめざす取組として妥当な事業である。</p>	○	<p>中区内の高等学校に通う生徒に対し、普段密接に関わる中区内の議題について考えてもらうことで、若者の意見を区政に反映することができるため、協働性のある事業である。</p>	◎	<p>中区内の高等学校の生徒と協力して区政について考えることで若い世代の視点を取り入れることができる中区独自の事業である。</p>
◎		◎	<p>電子申請システムを活用したアンケートを実施することでペーパーレス化につながり、費用を抑えた効率的な事業実施を行っている。</p>		
⑤自立発展性	総合評価				
△	<p>各校の生徒会を中心に自発的また意欲的に取り組んでいる一方で、学校側が過密な業務スケジュールの中で生徒をサポートして同規模のアンケート等を自立して実施することは難しいと考えられる。</p>	○	<p>昨年度に引き続き、電子申請システムを活用したアンケートを実施した。また、昨年度まで新型コロナウイルス感染症対策により、開催していなかった対面でのミーティングを再開し、これまでのアンケート内容に基づき、中区政について若者の意見を聞く良い機会となった。</p>		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>対面でのミーティングを再開し、中区政について若者の意見を聞きながら、啓発活動に積極的に取り組んでもらうための雰囲気づくりや機会の提供を行う。通常授業や学校行事で多忙の中、3校とも参加できる日程が少なく、ミーティングや啓発活動に十分な時間を割くことが難しい状況にあるため、活動頻度については検討していく必要がある。</p>				